

柔道整復科

脱臼整復実技

対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習+実技	時間数	30	単位	1
担当教員	有山敦士			実務経験	有	職種	柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)				

授業概要

脱臼を統括する。

到達目標

学生が脱臼について知り、理解できるようになることを目標とする。主に頸関節・肩関節・肘関節・股関節・膝蓋骨・膝関節・足部の脱臼について学び、臨床現場対応するために、発生機序、症状、合併症、整復方法、固定法を学び他の外傷と鑑別する能力を養うことを目標とする。

授業方法

座学および実技が中心となって行われる。実技ではグループを作成し、牽引のかかり方、方向性などを感じてディスカッションしながらより良いものにしていく。座学では発生機序、症状、合併症、後遺症、続発症、整復方法、固定法及び期間を学び理解するとともに、国家試験にも対応する授業していく。

成績評価方法

試験にて評価する

履修上の注意

医療人としての資質をはぐくむため受講態度や私語などは厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めないと共に、公共交通機関の遅延等が予測される場合はそれに対応できるようにすること。1年生からの継続した内容が必要となるため、骨折・軟部組織損傷などの他教科も合わせた予習・復習が必要である。授業時数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することができない。

教科書教材

教科書（柔道整復理論編・実技編公益社団法人全国柔道整復学校協会 監修）に準拠する。

回数	授業計画
第1回	認定実技審査②肩関節脱臼整復法・固定について理解する
第2回	認定実技審査③肘関節脱臼整復法・固定について理解する
第3回	認定実技審査④肘内障PIP関節脱臼について理解する

柔道整復科

脱臼整復実技

第4回	認定実技審査⑤総復習
第5回	膝関節脱臼①前方脱臼について理解する
第6回	膝関節脱臼②その他の膝関節脱臼について理解する
第7回	足部の脱臼①足部の構造、ショパール関節脱臼について理解する
第8回	足部の脱臼②リスフラン関節脱臼、足趾の脱臼について理解する
第9回	下肢の脱臼振り返り
第10回	上肢の脱臼①頸関節脱臼、鎖骨の脱臼をまとめ理解を深める
第11回	上肢の脱臼②肩関節脱臼をまとめ理解を深める
第12回	上肢の脱臼③肘関節部の脱臼、手指部の脱臼をまとめ理解を深める
第13回	下肢の脱臼①股関節脱臼をまとめ理解を深める
第14回	下肢の脱臼②膝蓋骨脱臼・膝関節脱臼をまとめ理解を深める
第15回	下肢の脱臼③足部の脱臼をまとめ理解を深める